

第35回電気泳動学会総会日程

総会会長 久留米大学医学部法医学 原 三 郎
会 期 昭和59年11月15日(木), 16日(金)
会 場 久留米市石橋文化センター(久留米市野中町1015 TEL 0942-33-2271)

第1日(11月15日, 木)

午前の部

9:25 — 9:30 開会の辞(総会会長 原 三郎)
9:30 — 12:06 一般演題(1~12)
12:06 — 13:10 休憩・評議員会

午後の部

13:10 — 15:46 一般演題(13~24)
15:46 — 16:05 記念写真
16:05 — 16:50 総会会長講演
17:00 — 19:00 会員懇親会

第2日(11月16日, 金)

午前の部

9:30 — 11:01 一般演題(25~31)
11:01 — 11:41 ボンソー色素検討小委員会報告
11:41 — 12:00 ポスター発表(P1~P5)
12:00 — 13:00 休憩・編集委員会

午後の部

13:00 — 13:20 総会議事
13:20 — 14:05 特別講演
14:05 — 14:15 休憩
14:15 — 16:45 シンポジウム(1~6)
16:45 — 閉会の辞(会長 平井秀松)

お知らせとお願い

参加者の方へ

- 参加費として1人4,000円をいただきます。
- 学会費(昭和59年度会費6,000円)未納の方はこの機会にご納入下さい。
- 第1日目11月15日(休)の総会会長講演終了後、会館内101号室にて会員懇親会を開きますので、奮ってご参加下さい。(会費2,000円)

一般演題口演の演者へ

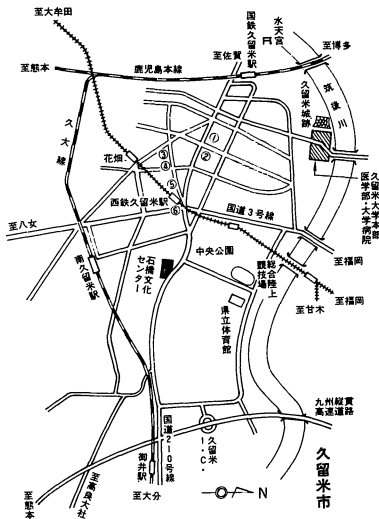
- 講演時間は1題について10分、討論時間は3分です。(時間厳守)
- スライドは35mmに限ります。枚数は原則として10枚以内にして下さい。プロジェクターは1台用意します。
- スライドは講演開始30分前までにスライド受付に提出して下さい。講演終了後、同受付でなるべく早くお引き取り下さい。
- 次の演者は、10分前までに次演者席にお着き下さい。

一般演題ポスター発表の演者へ

- ポスターのサイズは縦180cm、横90cmにして下さい。また、上から30cm以内に演題と氏名(所属)を記入して下さい。
- ポスターの掲示は第1日目午前中に行い、質疑応答は第2日目11時41分~12時の間に行ってください。
- ポスターの撤去は、第2日目質疑応答終了後より15時までの間に行ってください。

会場案内図

久留米市石橋文化センター(久留米市野中町1015 TEL 0942-33-2271)



○交通機関のご案内

一久留米市へ

- ・福岡空港より:直通西鉄高速バスで西鉄久留米駅へ45分(30分ごとに運行,700円)
- ・西鉄福岡駅より:特急・急行で西鉄久留米駅へ30~35分(15分ごとに運行,400円)
- ・国鉄博多駅より:特急で国鉄久留米駅へ35分(1時間ごとに運行)

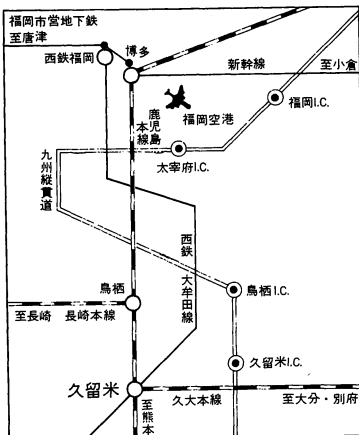
一学会会場へ

- ・国鉄久留米駅より:西鉄バス(①, ②番系統)で約20分(120円)「石橋文化センター前」にて下車:タクシーで約10分(730円)
- ・西鉄久留米駅より:西鉄バス(①, ②番系統)で約5分(90円)「石橋文化センター前」にて下車:タクシーで約2~3分(410円):徒歩で約15分

※会場には有料駐車場(約50台)がございます。ただし、学会専用には特に確保致しておりません。

○会場案内

- ・総会会長講演, 特別講演, シンポジウム, 一般演題:文化ホール(2階)
- ・総会:文化ホール(2階)
- ・ポスター発表:文化ホール横ロビー(2階)
- ・展示場:文化会館105号室・106号室(1階)
- ・評議員会:文化会館103号室(1階)
- ・編集委員会:文化会館103号室(1階)
- ・休憩室:2階ロビー
- ・学会本部:文化会館205号室(2階)



第35回電気泳動学会総会プログラム

〔総会会長講演〕

第1日 (11月15日) 16:05~16:50

司会 平山 千里

精漿蛋白質について

久留米大・医・法医学 原 三郎…………… (279)

〔特別講演〕

第2日 (11月16日) 13:20~14:05

司会 橋本 信也

血球の分離, 分類, 機能とその臨床的意義

久留米大・医・免疫学 横山 三男…………… (280)

〔シンポジウム〕

第2日 (11月16日) 14:15~16:45

電気泳動法によるアポリポ蛋白研究の進展

司会 山崎晴一朗

1. アポリポ蛋白の精製とその抗体の作製 自治医大・臨床病理学 ○櫻林郁之介…………… (281)
2. Apolipoprotein-specific monoclonal antibodies Research Institute of Scripps Clinic, La Jolla, CA ○Linda K. Curtiss…………… (282)
3. 電気泳動法によるアポリポ蛋白異常症の解析—等電点電気泳動法を中心に— 国立循環器病センター研・病因部 ○山村 卓…………… (283)
4. 動脈硬化に関連するアポリポ蛋白異常 阪大・医・第2内科 ○松沢 佑次・亀田 芳…………… (284)
5. 電気泳動を用いたアポリポ蛋白分析—PBC (原発性胆汁性肝硬変) 患者の異常リポ蛋白について— 九州大・医・第3内科 ○古賀 俊逸・宮田 康司…………… (285)
6. アポリポ蛋白異常とその臨床像 久留米大・医・内分泌代謝内科 ○上田 正人・谷口 孝治…………… (286)

〔一般演題〕

第1日 (11月15日)

午前の部

(9:30~10:22)

座長 竹尾 和典

1. 2次元電気泳動後の蛋白質同定システムとしての電気泳動プロットング法 都立大・理・化学 ○真鍋 敬・奥山 典生…………… (287)
2. 2次元電気泳動法を用いた子宮頸管粘液蛋白質の分析 山口大・医・産科婦人科 ○矢壁 昭人・成松 昭夫…………… (288)
鳥越 正幸・渡木 邦彦
同上・第1生化学 竹尾 和典
3. 2次元電気泳動法によるアルカリホスファターゼの分析 その1 新しい電気泳動システムと高感度活性染色法 山口大・医・産科婦人科 ○広田 正幸・成松 昭夫…………… (289)
矢壁 昭人・渡木 邦彦
鳥越 正
同上・第1生化学 竹尾 和典

4. Electroblothing による血液成分の遺伝形質変異性の検索
—両面 blotting の検討—

東京女子医大・法医学 ○大上 治・中村 茂基…(290)
阿部 和枝

(10:22~11:14)

座長 池本 卯典

5. 抗体親和転写法による α -フェトプロテインの検出とそのレクチン親和電気泳動の検討

香川大・保健管理センター ○武田 和久・泉 正樹…(291)

6. 中耳腔貯留液酸性ムコ多糖のセルロースアセテート膜2次元電気泳動による微量分析

大分医大・耳鼻咽喉科 ○佐藤 令江・茂木 五郎…(292)

7. 細管式等速電気泳動法による動物およびヒトの鼻汁蛋白成分の研究

東レ・安全研 ○奥泉 仁一・田中 健一…(293)
自治医大・法医学 吉田 治弘・池本 卯典

8. 等速泳動法による赤血球成分の同時分析

埼玉医大・生化学 ○坂岸 良克・木下 良一…(294)

(11:14~12:06)

座長 真鍋 敬

9. 連続濃度勾配ポリアクリルアミドマイクロゲル電気泳動法による髄液蛋白の解析(第2報)
—コンピューター制御式マイクロデンスイッチメーターによる処理法—

東京慈恵医大・第1内科 ○中林 治夫・永森 静志…(295)
同上・機能研究部 渡辺礼次郎・亀田 治男
小幡 徹

10. 中枢神経系疾患の患者髄液に含まれる微量低分子蛋白質の分離・分析について

杏林大・保健 ○平岡 厚・三浦 勇夫…(296)
国立下総療養所 村尾 修
国立千葉病院・神経科 富永 格・服部 宗和

11. 2重沈降線形成を示した2例のIgA2, A2m(2)骨髄腫蛋白の検索

山口大・医・小児科 ○小林 邦彦・萩原 啓二…(297)
久留米大・医・第2内科 福島 博文・谷川 久一

12. アフィニティ電気泳動法を用いたMO PC-315骨髄腫蛋白のハプテンに対する相互反応の熱力学的解析

山口大・医・第1生化学 ○田中 経彦・鈴野 亮輔…(298)
中村 和行・桑原 亮
藤本 正憲・竹尾 和典

午後 の 部

(13:10~14:02)

座長 河合 忠

13. 血清中に ALP 結合性免疫グロブリンを認め、生検肝組織内にその膜局在を証明し得たりウマチ様関節炎の一例

慶應大・医・中 検 ○堀井 康司・加野象次郎…(299)
同上・内科 松本宏治郎
吉岡 政洋・中元 秀友
朝倉 均・石井 裕正
土屋 雅春

14. 小腸性 ALP 結合性 IgG- λ 例と IgA- λ 例

兵庫医大・中 検 ○新谷 如理・戸沢 辰雄…(300)
桑原 純子

15. NADH による LDH-IgG complex の分離
—結合アイソザイム分画の同定への応用—

九州大・医・検査部 ○長嶺 光隆・大河内一雄…(301)

16. LDH 結合性免疫グロブリン 8 例の再結合実験

旭川医大・検査部 ○森山 隆則・信岡 学…(302)
牧野 幹男

(14:02~14:54)

座長 櫻林郁之介

- | | | | |
|--|---|--|-------|
| 17. 動物血清と反応したIgG-K型M蛋白血症の一例 | S R L・臨床化学部
自治医大・臨床病理学
国立相模原病院・内科 | ○川畑 勇二・毛利 邦子
川尻 由子
櫻林郁之介・伊藤 喜久
河合 忠
坪井 嘉彦・山崎 昭 | (303) |
| 18. 胃腫瘍組織由来 creatine kinase BBの性状 | 倉敷中央病院・中検 | ○金光 房江・川西 功躬
水島 淳 | (304) |
| 19. 乳癌及び食道癌由来の培養細胞の酵素の電気泳動パターンについて | 国立がんセンター研・
がん転移研究室 | ○斉藤理恵子・小山恒太郎 | (305) |
| 20. α_2 macroglobulin deficiency について | 北里大・医・臨床病理学 | ○大谷 英樹・大貫 裕子
市川 恵子・今井 博康
船渡 忠男・斉藤 正行 | (306) |

(14:54~15:46)

座長 坂岸 良克

- | | | | |
|--|--------------------------|----------------------------|-------|
| 21. 肝疾患における血清プロコラーゲンIII-ペプチドとヒプロプロテイン | 鳥取大・医・第2内科 | ○山田 貞子・周防 武昭
平山 千里 | (307) |
| 22. ラットおよびマウス α_2 acute phase protein (α_2 AP) の免疫化学的研究 | 札幌医大・第1内科 | ○川原田 信・藤井 博之
谷内 昭 | (308) |
| 23. ヒト Reticurocyte の transferrin receptor の分離とその性質について | 昭和 大・医・生化学 | ○牧野 義彰・金丸 育恵
鄭 一世・紺野 邦夫 | (309) |
| 24. セロトニンの免疫ペルオキシダーゼ法による微量薄層クロマトグラム上での可視化とその応用 | 都養育院附属病院・病理部
東大・医・病理学 | ○田口 智也・嶋田 裕之
森 亘 | (310) |

第2日 (11月16日)

午 前 の 部

(9:30~10:22)

座長 小林 貞男

- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|-------|
| 25. 両性担体を用いない等電点電気泳動法による両性担体の分離像 | 東京医歯大・教養・物理学 | ○島尾 和男 | (311) |
| 26. 蛋白質の特定位置の解離性残基のpK値を電気泳動法によって求める | 阪 大・蛋 白 研
関 西 医 大 | ○油谷 克英・青木 邦夫
角野富三郎・小笠原京子
杉野 義信 | (312) |
| 27. 密閉型調製用薄層アガロースゲル等電点電気泳動 | 麻布大・環保・生物有機化学 | ○吉原 英児・鈴木 潤
小林 貞男 | (313) |
| 28. 新しい細胞電気泳動自動化装置の開発とその応用 | 東京慈恵医大・第3内科
都老人研・生化学
A D S
杉 浦 研 | ○橋本 信也・能勢 俊一
堀越 潤子
大橋 望彦
馬場幸三郎・幸川 良一
田中 雅弘 | (314) |

(10:22~11:01)

座長 長嶺 光隆

- | | | | |
|---|-----------|----------------------------|-------|
| 29. ポリアクリルアミド平板ゲルを用いた迅速等電点電気泳動法によるアポE isoform パターンの分析 | 旭川医大・第2内科 | ○衛藤 雅昭・渡辺 清
建部 高明・石井 兼央 | (315) |
|---|-----------|----------------------------|-------|

30. 等電点電気泳動およびクロマトフォーカシングによる抗体の分画 阪大・医・臨床検査診断学 ○遠藤 雄一・畑 直成…(316)
飯島 康史・市原 清志
宮井 潔
31. 軟骨魚類カンギエイ (Raja kenoei) の多量体免疫グロブリンのJ鎖 山口 大・医・小児科 ○萩原 啓二・小林 邦彦…(317)
同上・医療短大 堀井 正
友永 進

〔一般演題〕

第2日 (11月16日) 11:41~12:00

- P 1. 酵素結合性免疫グロブリンと各種自己抗体の関連性：特に潰瘍性大腸炎例について 兵庫 医 大・中 検 ○二見多美子・戸沢 辰雄…(318)
柴田 宏・佐藤 仁美
- P 2. 潰瘍性大腸炎におけるCK結合性免疫グロブリン 兵庫 医 大・中 検 ○林 景子・戸沢 辰雄…(319)
- P 3. LDH結合性IgGと結合するLDH分画 兵庫 医 大・中 検 ○安西恵理子・戸沢 辰雄…(320)
森田 祐代
- P 4. 白血病および悪性リンパ腫における血清セルロプラスミンの臨床的意義 大阪 医 大・第2 内 科 ○大藪 博・津本 清次…(321)
陰山 克
- P 5. ラットおよびラビットの部分肝切除に伴う血清蛋白質の変化 昭和大・医・中央化学 ○門福 強樹・佐藤 永雄…(322)

〔ボンソー色素検討小委員会報告〕

第2日 (11月16日) 11:01~11:41

司 会 島尾 和男

1. ボンソー色素の検定法 東京学芸大・生物学 ○井上 勤・村上 潤…(323)
2. ボンソー色素による血清蛋白質の染色 東京学芸大・生物学 ○井上 勤・村上 潤…(324)
慶應大・医・中 検 松本宏治郎・大竹 皓子
埼玉 医 大・生 化 学 坂岸 良克・天田 栄治
自治医大・臨床病理学 櫻林郁之介・山岸 安子
東京医歯大・医・中 検・生 化 学 佐野紀代子・長 裕子
虎の門病院・臨床化学 北村 元仕・村川 和枝
早川 真美
日大・板橋病院・臨床検査科 橋本寿美子